

第1次石狩市観光振興計画成果について

	重点プロジェクト	計画の内容	計画の成果	課題
1	石狩鍋復活プロジェクト	全国でも知名度の高い「石狩鍋」を、市内の多くの飲食店で提供できるよう、復活運動を展開します。活動拠点を「本町地区」とし、積極的なPR活動を通して石狩の食文化を広げるきっかけをつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩鍋記念日を制定し、平成19年に石狩鍋の普及促進を目的とし「あきあじの会」を設立し（市内12店舗・東京1店舗）メンバーが学校へ出向き、石狩鍋の作り方の講座を実施しています。 ・「レトルト石狩鍋の」開発を行ったが継続販売はしていない状況です。 ・平成27年度「石狩鍋オリジナル味噌」を試作し、市内、市外で無料配布し石狩鍋の普及促進を行っています。 ・朝市や学校給食で石狩鍋を提供する計画であったが、材料費等の関係で実施には至りませんでした。 	・引続き「石狩鍋」普及のためのPRは必要であり、次世代を担う児童生徒を対象とした「サケ育」の推進も取組んでいくことが必要です。
2	厚田公園展望台「恋人の聖地」プロジェクト	ブライダルデザイナー桂由美氏が中心となり、全国で展開している「恋人の聖地」プロジェクト。平成18年7月に「恋人の聖地・道内第1号」として認定された厚田公園展望台を活用し、若い世代に向けた誘客事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内飲食店、菓子店でカップルメニュー開発・販売を行って誘客に結びつけることが出来ました。 ・クリスマス企画「ディナー前に石狩で夕日を見よう」をキャッチフレーズにした誘客キャンペーンを実施することが出来ました。 ・石狩麦酒工房が藤女子大学と恋人の聖地をイメージしたお酒を開発しています。 ・多くの雑誌や新聞、メディア等に取り上げられ、誘客が図られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は道の駅の建設に伴い、さらなる誘客に向け施設との一体的な取組みが考えられます。 ・なお、次期計画においては、誘客において一定の成果が得られていますが、これからも継続した活用を考えていく必要があります。
3	森の活用プロジェクト	6年間に渡って濃昼山道保存会による整備が進められてきた厚田区の「濃昼山道」が平成17年秋に再び開通し、多くの人々の注目を集めています。これをきっかけに市内でも森林資源の活用が積極的に検討されるようになっており、新たなドライブコースの創設なども視野に入れながら、観光客の受け入れ体制を強化することはもちろん、森林を軸とするツアーの充実を図り、石狩の森林の知名度アップを狙います。	<ul style="list-style-type: none"> ・浜益区の森林を活用した「ウォーキング（マラソン）」を継続して実施し、都市住民との交流を図りながら、森林の知名度アップを図っています。 ・北海道トレイルランニングクラブが濃昼山道をコースとした大会「GOKIBIRU TRAIL 30K」を開催した実績があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウォーキング」については、10年間継続して行った事業として、都市住民との交流を図っていますが、事業の継続を含め検討が必要と思われます。 ・濃昼山道や現在復元されている増毛山道の活用促進について、関係団体と連携して取組んで行く必要があります。
4	浜益温泉魅力アッププロジェクト	浜益地区に釣りや登山、海水浴で訪れる人たちは、帰途、その汗を流してさっぱりするため、浜益温泉に立ち寄る確率が高い傾向にあります。今後は、その傾向を踏まえたツアーの展開や、利用者の満足度を高めるためのサービスを開発・提供することでリピーターの増加へと結び付け、民宿との連携を進めて浜益地区の観光客増加を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者へ浜益温泉を盛込んだツアーの造成や民宿事業者、さらに、海水浴利用者に温泉利用のアナウンスをすることにより観光客増加を図ることが出来ました。 ・指定管理者と連携し、入館者記念イベントを行い、温泉PRを図ることが出来ました。（28年6月300万人入館） 	・引続き、利用者減少の歯止めのために、ツアーの造成や利用者満足度を高める方策が必要です。
5	情報発信プロジェクト	観光情報の入手先として「知人・友人の口コミ」が一番の情報源とする人が多い現状（石狩市観光調査結果）に対応して、今後は、彼らが真に欲する情報である「地域住民の持つ生の情報」をいち早く提供できる体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報媒体を活用し情報提供を図りました。 ①地域密着型のラジオやインターネットテレビを活用 ②観光情報発信動画作成を行い、Youtubeチャンネルで配信（平成27年） ③サケの文化を発信する「石狩さけ」パンフレットを作成（H25年） ④「石狩さけ」パンフのこども用「サケペディア」を作成（H26年） ⑤市のメール配信システムを利用し「観光情報」をリアルタイムで発信 	・情報発信は観光の基本であり、次期計画では、外国人観光客誘致も含めた「情報発信の強化」が求められています。
6	手つなぎプロジェクト	市内においては、エリアのつながりを強化し、情報を交換・共有することで効率的な観光振興を図ります。市外においては、特に札幌市と札幌広域圏組合とのつながりを強化し、“点”から“面”への広域観光の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度に石狩管内7市町村で構成される「さっぽろ広域観光圏推進協議会」が設立され、道内外へ向けた観光プロモーション事業を実施しています。 ・平成25年度より小樽市、手稲区との3地区連携事業により、手稲駅「あいくる」で、さけ太郎、さけ子の出演も含めた観光PRを行っています。 	・引続き、管内市町村やオロロンラインを活用した他市町村とのネットワークの強化が求められています。